

びわ博フェス特別企画

日時	11月16日(土) 9:40~	アトリウム	日時	11月17日(日) 9:40~	アトリウム
9:40 ~	・開会挨拶 亀田 佳代子 館長		9:40 ~	・挨拶 山川 千代美 副館長	
9:45 ~	・トーク：「びわ博フェスを楽しもう！」 里口 保文 事業部長		9:45 ~	・トーク：「びわ博フェスを楽しもう！」 楊 平 環境学習・交流係長	
9:50 ~	・①企画展示「湖底探検II」ツアー 芳賀 裕樹 学芸員		9:50 ~	・①企画展示「湖底探検II」ツアー 芳賀 裕樹 学芸員	
	②11:30 ~ ③13:00 ~ 各回 20分 企画展示室			②11:30 ~ ③13:00 ~ 各回 20分 企画展示室	
	※ツアー参加者は、企画展示室前へ 5 分前にご集合願います。 ※企画展示の観覧には別途観覧料金が必要です。			※ツアー参加者は、企画展示室前へ 5 分前にご集合願います。 ※企画展示の観覧には別途観覧料金が必要です。	

ポスター展示

博物館で自主的に活動する「はしかけ」、フィールドレポーター、連携する企業・地域団体の皆さんによる活動紹介の展示

日時	11月16日(土)・17日(日) 9:30~17:00	アトリウム
参加団体	<p>針江生水の郷委員会、湖南企業いきもの応援団、日本野鳥の会滋賀、湖国もぐらの会、NPO 法人まるよし、滋賀県琵琶湖保全再生課、NPO 法人葛川共創ネットワーク、株式会社村田製作所、株式会社 SCREEN ホールディングス、(公社) 滋賀県獣医師会、放鳥's、株式会社レゾナック、ホテルの学校、琵琶湖博物館はしかけ「うおの会」、はしかけ「近江 巡礼の歴史勉強会」、はしかけ「淡海スケッチの会」、はしかけ「近江はたおり探検隊」、はしかけ「大津の岩石調査隊」、はしかけ「温故写新」、はしかけ「暮らしをつづる会」、はしかけ「古琵琶湖発掘調査隊」、はしかけ「里山の会」、はしかけ「植物観察の会」、はしかけ「たんさいぼうの会」、はしかけ「田んぼの生き物調査グループ」、はしかけ「ちっちゃなこどもの自然あそび」、はしかけ「琵琶湖の小さな生き物を観察する会」、はしかけ「びわたん」、はしかけ「ほねほねくらぶ」、はしかけ「緑のくすり箱」、はしかけ「虫架け」、はしかけ「森人」、はしかけ「琵琶湖梁山泊」、はしかけ「サロン de 湖流」、はしかけ「水と暮らし研究会」、はしかけ「海浜植物守りたい」、琵琶湖博物館フィールドレポーター</p>	

講演会 琵琶湖の魚の保全をめぐる

— つながることで できること —

日時	11月17日(日) 15:00 ~ 16:45	ホール
15:00 ~	・主旨説明 橋本 道範 学芸員	
15:05 ~	・知る：「新たな図鑑でわかったこと」 藤岡 康弘 氏 (琵琶湖博物館 特別研究員)	
15:30 ~	・伝える：「YouTube で発信する」 マーシーの獲ったり狩ったり (ユーチューバー)	
15:55 ~	・つなぐ：「MLGs でつながる」 滋賀県琵琶湖保全再生課	
16:05 ~	・結ぶ：「里山環境を守る叶 匠壽庵・寿長生の郷の挑戦」 叶 匠壽庵	
16:15 ~	・MLGs 体操 MLGs 推進委員会	
16:30 ~	・まとめ	
16:35 ~	・閉会挨拶 杲 一哉 副館長	
16:45	終了	



フェスステージ発表会

日時 11月16日(土) 15:00 ~ 16:35

セミナー室

開催時間	トークタイトル	発表者・団体名	トーク内容
15:00 ~	「どんな水槽ができるの？新ビワコオオナマズ水槽を詳しく解説」	川瀬 成吾 学芸員（琵琶湖博物館）	
15:10 ~	びわフェストークⅠ 「つながることで見えてくる」	林 竜馬 学芸員（琵琶湖博物館）	
15:25 ~	「つながる」活動発表・ヨシでびわ湖を守るネットワーク活動について	株式会社コクヨ工業滋賀	ヨシで琵琶湖を守る活動に賛同いただき、ネットワーク会員 133 団体で西の湖、伊庭内湖を中心にヨシ刈り活動を実施し、新たな活用手段を構築し継続的活動を行っています。
15:30 ~	・湖国もぐらの会の活動について	湖国もぐらの会	
15:35 ~	・日本野鳥の会滋賀の活動	日本野鳥の会滋賀	会報「におのうみ」の発行、滋賀県内での探鳥会（野鳥観察会）の開催、水鳥調査の実施、野鳥観察情報のとりまとめなどの活動についてお話します。
15:40 ~	・年間の活動紹介	はしかけ「大津の岩石調査隊」	「この石は何？」と興味をもった人の集まりです。主に県内の野外調査で岩石を採取し、室内勉強会で基本的なことを学んでいます。中学生から 70 代の幅広い年齢層でそれぞれの目的に応じて楽しんでいます。
15:45 ~	・滋賀県のトンボの現状と BBN の取り組みについて	生物多様性びわ湖ネットワーク	BBN では、水との関りが深いトンボの保全を通じて、滋賀県の生物多様性保全の実現に取り組んでいます。BBN によるトンボ調査の結果や保全活動の取り組みについてお伝えします。
15:50 ~	・水に、大地に、人に感謝	針江生水の郷委員会	活動を始めてから、今年で 20 年目を迎えた「針江生水の郷委員会」。支えていただいた皆さまへの感謝の気持ちを込めて、これまでを振り返り、これからを展望します。
15:55 ~	びわフェストークⅡ 「つながることで楽しめる」	杉田 薫 氏（水と暮らし研究会）	
16:10 ~	「つながる」活動発表・魚つかみから、こんなことが分かった	はしかけ「うおの会」	「楽しみながら調査する団体」うおの会の調査の歴史はもうすぐ四半世紀に到達します。採れる魚がどう変わってきたか？どんなことが分かったのか？をお話します。
16:15 ~	・ちこあそで、ゆるーく、やさしく、自然であそぼう	はしかけ「ちっちゃなこどもの自然あそび」	びわ博の外に、田んぼや畑、森、おうちがあるのは知ってる？毎月 1 回親子が自然で楽しむちこあそを紹介し、トンボやチョウを追いかけ、ガチャコンポンプで水遊び！
16:20 ~	・琵琶湖に関するちょっとした科学実験	はしかけ「サロン de 湖流」	「琵琶湖の深呼吸」とも呼ばれる湖水の動きに関係する簡単な水槽実験を実施します。
16:25 ~	・ホテルと子どもたちと地域がつながる	ホテルの学校	ホテルが多く生息する千丈川で、21 年間、地元の小学校・自治会・琵琶湖博物館の協力も得て子どもたちは地域とつながり、多くの人に伝え、共に川やホテルを守ってきました。
16:30 ~	・SDGsとして環境問題を考えながら、ヨシ笛の魅力を伝えていく	愛(マナ)ミュージック・アカデミー	【ヨシでびわ湖を守るネットワーク】のメンバーの一員として、環境貢献に携わり、ヨシの再利用の一つである《ヨシ笛》の演奏活動を通して、ヨシ笛の魅力を伝えます。

日時 11月17日(日) 11:45 ~ 12:55

セミナー室

開催時間	トークタイトル	発表者・団体名	トーク内容
11:45 ~	「どんな水槽ができるの？新ビワコオオナマズ水槽を詳しく解説」	川瀬 成吾 学芸員（琵琶湖博物館）	
11:55 ~	「つながる」活動発表・森人の活動紹介	はしかけ「森人」	太古の森、縄文・弥生の森などの屋外展示の活用をはかるために森の動植物観察、整備、ガイドツアーなどによる来館者との交流などの活動を行っています。
12:00 ~	・葛川共創ネットワークとは？	NPO 法人葛川共創ネットワーク	大津市葛川地域を中心に持続可能な地域づくりを通して生きることの豊かさの実現を目的とする NPO 法人の活動を紹介し、
12:05 ~	・ヨシとMLGsについて	NPO 法人まるよし	ヨシ原はいろんな生き物にとって大切な存在であり、それを守り育てていくためには何をすればよいのか、といった問いかけに対して、MLGs という切り口で講演します。
12:10 ~	・愛東町域の人口増減	はしかけ「水と暮らし研究会」	愛東町域は江戸時代の人口が 4389 人、令和 6 年の人口も 4300 人で変動がない地域。しかも、市街化調整区域であること。その要因探しの調査活動をしている。
12:15 ~	・フィールドレポーター活動紹介	琵琶湖博物館フィールドレポーター	
12:25 ~	びわフェストークⅢ 「ひかり拓本でつながろう」	上根 英之 氏（文化財防災センター／(併) 奈良文化財研究所）	

学芸員と展示室でつながろう！

学芸員と楽しくトーク

日時 11月16日(土) 14:00 ~ 14:30

各展示室

展示室	コーナー	発表者	専門	トークテーマ
A 展示室	変わる気候とメタセコイアの森	山川 千代美	古植物学	古琵琶湖を取り巻く植物たち
A 展示室	うつり変わる生き物	半田 直人	骨の化石の分類	ゾウの化石を見てみよう
B 展示室	森ゾーン	妹尾 裕介	考古学	森と人の関係史
B 展示室	水辺ゾーン	加藤 秀雄	民俗学	琵琶湖の魚はどうやって捕るの？
C 展示室	魚のゆりかご水田	西川 真里奈	農村計画	魚のゆりかご水田について
C 展示室	川から森へ	奥田 岬	森林の役割	手入れが大事！森林を管理しないとどうなる？
C 展示室	私たちの暮らし（富江家「カワヤ」）	楊 平	社会学	湧き水と魚の面白い関係
C 展示室	生きものコレクション	今田 舜介	陸上昆虫学	ドングリ虫の正体
水族展示室	暮らしのなかの魚たち	橋本 道範	歴史学	天皇が食べたドジョウズシ
水族展示室	内湖水槽前	菅原 巧太朗	二枚貝	二枚貝、タナゴ、ハゼの不思議な関係
水族展示室	古代湖の世界 バイカルアザラシ水槽前	松岡 由子	水生動物学	どうして琵琶湖博物館にアザラシがいるの？
水族展示室	マイクロバー	鈴木 隆仁	微小生物	今日の琵琶湖のプランクトン
おとなのディスカバリー	植物	大槻 達郎	植物分類学	琵琶湖に海浜植物が残っているのは、湖岸の虫たちのおかげ？
おとなのディスカバリー	大型ディスプレイ	米田 一紀	水産学	耳石からわかること
屋外展示	樹冠トレイル入口	林 竜馬	森の歴史	樹冠トレイルのおすすめポイント
生活実験工房		大久保 実香	地域社会学	生活実験工房をご案内！

学芸員と展示室でつながろう！

学芸員と楽しくトーク

日時 11月17日(日) 14:00 ~ 14:30

各展示室

展示室	コーナー	発表者	専門	トークテーマ
A 展示室	変わる気候とメタセコイアの森	山川 千代美	古植物学	古琵琶湖を取り巻く植物たち
A 展示室	うつり変わる大地と湖コーナー	里口 保文	第四紀地質学	琵琶湖であり続けることを支えるもの
A 展示室	うつり変わる生き物	半田 直人	骨の化石の分類	ゾウの化石を見てみよう
A 展示室	フローティングスクールの展示	桑原 康一	学校教育学	博物館と学校教育とのつながり
B 展示室	森ゾーン	妹尾 裕介	考古学	森と人の関係史
B 展示室	水辺ゾーン	加藤 秀雄	民俗学	琵琶湖の魚はどうやって捕るの？
C 展示室	魚のゆりかご水田	西川 真里奈	農村計画	魚のゆりかご水田について
C 展示室	川から森へ	奥田 岬	森林の役割	手入れが大事！森林を管理しないとどうなる？
C 展示室	私たちの暮らし（富江家「カワヤ」）	楊 平	社会学	「カワヤ」の不思議発見
C 展示室	私たちの暮らし（富江家）	大久保 実香	地域社会学	ちょっと昔のおうちを探検！
C 展示室	生きものコレクション	今田 舜介	陸上昆虫学	ドングリ虫の正体
水族展示室	暮らしのなかの魚たち	橋本 道範	歴史学	天皇が食べたドジョウズシ
水族展示室	内湖水槽前	菅原 巧太朗	二枚貝	二枚貝、タナゴ、ハゼの不思議な関係
水族展示室	古代湖の世界 バイカルアザラシ水槽前	松岡 由子	水生動物学	どうして琵琶湖博物館にアザラシがいるの？
水族企画展示室		田畑 諒一	魚類学	6年ぶりに展示中！タニガワナマズ
おとなのディスカバリー		榎永 一宏	水生昆虫学	昆虫の形や色の不思議

ワークショップ

博物館とつながるグループ・企業・団体の皆さんが楽しい体験を提供します。

日時 11月16日(土) ①10:00～11:45 ②13:00～14:45 **実習室1・2、会議室、マイクロアクアリウム、生活実験工房、オープンラボ、うみっこ広場等**

No	タイトル	内容	開催時間	主催団体	会場	予定定員	備考
1	・野鳥クイズに挑戦してバードウォッチング名人をめざそう	・野鳥に関するクイズを解き、水鳥のカウントや望遠鏡を覗く体験をしながら、烏丸半島をイメージした室内の順路を回り、バードウォッチングに詳しくなっていただきます。	①	日本野鳥の会滋賀	会議室	—	8歳以下 保護者同伴
2	・石を観察して絵を描いてみよう	・いろいろな石を見てさわって、色、形、重さなどを比べて、お気に入りの石を見つけよう。選んだ石はどんな石だろう？じっくり観察しよう。石の名前を覚えてもらおう。石に絵を描こう。	①	はしかけ「大津の岩石調査隊」	実習室1	12名 6名×2回	10歳以下 保護者同伴
3	・うでにはめる日時計をつくらう	・紙で作った日時計に方位磁石を載せ、布バンドを付けて作った腕時計の形にします。時計の文字盤は時刻数字の他は色や線などを自由にデザインしてもらい自分だけの日時計を作ります。	①	はしかけ「びわたん」	実習室2	15名	—
4	・琵琶湖とその周辺の小さな生きものを観察しよう	・マイクロアクアリウムで琵琶湖とその周辺水域のさまざまな生き物を顕微鏡で見せて、解説します。	①②	はしかけ「たんさいぼうの会」 「琵琶湖の小さな生き物を観察する会」	マイクロ アクアリウム	—	—
5	・ちこあそ！びわ博フェス特別版	・博物館の田んぼや畑、森をつかって、みんなで遊びましょう。どんぐり見つかるかな？	①②	はしかけ「ちっちゃなこどもの自然遊び」	生活実験工房	10組	未就学児と 兄弟・保護者
6	・オリジナルのトンポを作ろう！	・100円均一ショップでも揃えられる材料を使って、オリジナルのトンポを作ろう！	②	生物多様性びわ湖ネットワーク	会議室	30名	6歳以下 保護者同伴
7	・間伐材によるコースターづくり	・間伐材を使ったコースターづくり	②	トヨタ紡織滋賀株式会社	実習室2	20名	5歳以下 保護者同伴
8	・お魚キーホルダーを作ろう	・琵琶湖のお魚をデザインした、ブラバンキーホルダーを作ります。自由な色をぬって、素敵な作品に仕上げましょう。	②	はしかけ「うおの会」	実習室1	36名 12名×3回	—
9	・樹皮を編んでストラップを作ろう	・樹皮でテープを作り、編みこんでストラップを作ります。作成したストラップはお持ち帰りいただけます。	②	はしかけ「近江はたおり探検隊」	生活実験工房 座敷	10名	7歳以下 保護者同伴
10	・ヒノキの香りを楽しみ、ヒノキグッズをつくらう	・ノコギリでヒノキの原木を玉切りにし、紙やすりを使って滑らかにします。香りを楽しみながらヒノキグッズを作しましょう。(45分間の作業)	②	はしかけ「里山の会」	生活実験工房 土間・前広場	16組 8組×2回	小学生以下 保護者同伴

日時 11月17日(日) ③10:00～11:45 ④13:00～14:45 **実習室1・2、会議室、マイクロアクアリウム、生活実験工房、オープンラボ、うみっこ広場等**

No	タイトル	内容	開催時間	主催団体	会場	予定定員	備考
11	・琵琶湖のプランクトン(微小生物)観察会	・特製の観察ノートを使って、琵琶湖の微小生物を見てみよう。	③	株式会社 SCREEN ホールディングス	実習室1	24名	10歳以下 保護者同伴
12	・土の中から虫を探そう！	・県下の複数の地で採取した土壌を振るいにかけて、落下した虫を採取し同定します。	③	はしかけ「虫架け」	生活実験工房	10名	10歳以下 保護者同伴
13	・匂い袋を作ろう	・好きなハーブやスパイスを、布袋やポチ袋に入れて匂い袋を作ります。	③	はしかけ「緑のくすり箱」	実習室2	20名 10名×2回	10歳以下 保護者同伴
14	・ヨシの魅力や大切さを楽しく学べるワークショップ	・ヨシの魅力やヨシ原を守ることの大切さを楽しく学べるワークショップとして、ヨシを使った工芸品づくり体験の他、ヨシ博士によるヨシクイズにチャレンジしていただけます。	③④	NPO 法人まるよし	会議室	30名	小学3年生以上 推奨
15	・動物とのふれあい教室と獣医関連パネル展示	・動物(モルモットとウサギ)との触れ合いでは、実際に抱いて体温や鼓動を感じ、質問にも獣医師がお答えします。また、ペットと暮らすための災害対策や獣医関連のパネル展示を行います。	③④	公益社団法人 滋賀県獣医師会	うみっこ広場	約90名	10歳以下 保護者同伴
16	・琵琶湖とその周辺の小さな生きものを観察しよう	・マイクロアクアリウムで琵琶湖とその周辺水域のさまざまな生き物を顕微鏡で見せて、解説します。	③④	はしかけ「たんさいぼうの会」 「琵琶湖の小さな生き物を観察する会」	マイクロ アクアリウム	—	—
17	・CO ₂ 削減取組の紹介と副産物で発生するドライアイスを使った実験教室	・廃プラスチックを再利用するケミカルリサイクルを実施してカーボンニュートラルを目指しています。副産物で得られるドライアイスを用いて、霧箱実験・凍結実験をします。	④	株式会社レゾナック	実習室1	20名	10歳以下 保護者同伴
18	・葛川で収穫したお米を精米しよう	・葛川で収穫したお米を精米しよう！お米が食卓に届くまでどんな過程があるのか、精米を通していっしょに学びましょう！	④	NPO 法人葛川共創ネットワーク	生活実験工房	25名 5名×5回	—
19	・めざせフォレストマスター！	・樹冠トレイルと屋外展示を歩いて、森のクイズラリーにチャレンジしよう。現地受付で個人またはグループで、それぞれのペースで参加いただけます。(雨天時変更あり)	④	はしかけ「森人」	屋外展示	100名	6歳以下 保護者同伴
20	・骨格標本の制作過程の実演	・骨格標本の制作過程の実演とオープンラボの周辺での交流活動。(シカなどの骨を並べての来館者との交流活動等を予定)	④	はしかけ「ほねほねくらぶ」	オープンラボ	—	—
21	・ひかり拓本をやってみよう - みえにくい字や絵を浮かびあがらせてみよう -	・石碑などの表面に刻み込まれた文字や絵に、斜めから光を当てて出来た影を撮影し、重ね合わせ、見えにくい物も浮かびあがらせる「ひかり拓本」を体験していただけます。	④	琵琶湖博物館フィールドレポーター	実習室2	48名 24名×2回	小学生以上